

鴉征伐

夢野久作

青空文庫

お父さんの蛙が田圃へ虫とりに行つたまま帰つて来ませんので、お神さんの蛙と子供の蛙が心配をして探しに行きましたら、かわいそうにお父さん蛙は鶇もじすに捕えられて茅かやの刈り株に突き刺されて日干になつて死んでいました。

これは鶇が冬食べ物がなくなつた時食べようと思つて仕舞つて置いたのです。

母蛙と子蛙は抱き合つて泣きました。泣く泣くお父さんのカラカラの死骸を荷になつてつづれた蓮の葉のお寺に担ぎ込んで、親類や友達蛙が寄つてたかつてお念仏をしてお葬とむらいを済ました。

そこへ一匹の雀が通りかかつて、お前達は何をしているかと尋ねました。蛙どもがわけを話しますと、雀は肩を怒らして申しました。

「大体、あの鶇という奴は高い処へ止まつてキイキイ威張つた憎い奴だ。よし俺が仇を取つてやるから泣くな泣くな」

と言つて飛んで行きました。

雀は友達を大勢集めて評議をしましたが、やがて八方に飛び散つて鳥さしを探しました。鳥さしが見つかりと雀どもは大勢連れ立つて鳥さしの前をチューチュー啼きながら飛び回

りました。鳥さしは、止まったと思つて近付くと、パツと逃げます。又近付くとパツと逃げる。こうして深いドブの処まで誘つて来ますと、案の定鳥さしは夢中になつてドブの中に落ちました。その時に取り落したモチ棹を雀どもは寄つてたかつて引つ唧えて山の方へ飛んで来て、いつも鴟が来る木のでつぺんに立てかけて置きました。

何にも知らぬ鴟はいつもの通り遠方からキイキイ啼きながら飛んで来ていつも止まる木の一番高い処に止まりますと、コハ如何に、足がピタリと吸い付きました。大變だと思つて飛び立つと、今度は羽根がモチにからまつてしまいました。

「キイキイキイキイ助けてくれ」

と一所懸命もがいておる処へ、最前ドブに落ちた鳥さしがモチ棹を追っかけて来てこの様子を見ると、

「雀が鴟を取つてくれた」

と喜んで鴟の首をキュツトひねつて袋に入れてモチ棹を担いで帰つて行きました。

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集」三一書房

1970（昭和45）年1月31日第1版第1刷発行

1992（平成4）年2月29日第1版第12刷発行

初出：「九州日報」

1925（大正14）年10月7日

入力：川山隆

校正：土屋隆

2007年7月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

鴟征伐

夢野久作

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>